

## 事業概要

地域医療の支援に意欲を持つ医師経験5年以上の医師を都職員として採用し、東京都地域医療支援ドクターとして、医師不足が深刻な市町村公立病院等に一定期間派遣  
派遣期間(支援勤務)以外は、専門医・指導医等へのキャリアパスを実現できるよう、本人の希望に応じて、都立病院等において専門研修を実施

【実施年度】平成21年度から実施

【募集診療科等】小児医療、周産期医療(産科・新生児科)、救急診療(内科・外科等)、へき地医療(総合・内科・外科等)

【勤務内容～支援勤務と専門研修のローテーション勤務～】

6年間の勤務形態	支援勤務	派遣先	へき地の公立医療機関 周産期、小児、救急医療等の医師不足が深刻な地域の市町村公立病院	
		派遣期間	1派遣期間につき、原則1年	
		身分	自治法派遣(都職員と派遣先市町村職員又は公立病院組合の身分を併任)【※1】	
		処遇	給与等は派遣先市町村又は公立病院組合より都に準じた額を支給 他に、派遣手当(1万円/勤務1日)を支給(採用後6年間)	
		専門研修	研修先	都立病院などの都立施設 都立施設以外の都内の臨床研修指定病院(通算1年以内)
			研修期間	支援勤務1年につき2年以内 (ただし、専門研修4年につき通算3ヶ月程度、臨時派遣【※2】に従事)
	身分		都職員	
	処遇	給与等は都の規定により支給(常勤医師) 研究研修費(約53万円上限/年)		

【※1】地方自治法第252条の17 【※2】へき地医療機関への代診等

【募集対象医師】採用予定日現在、医師法による医師の免許を取得後、通算5年以上医療に従事しており、満60歳未満で医師として診療業務が可能な者。

【勤務イメージ】

6年間の勤務イメージ					
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
支援勤務	専門研修	専門研修	支援勤務	専門研修	専門研修

## 令和4年度派遣について

### 1 当年度(令和3年度)派遣状況

(1) 町田市民病院	小児科	1名(新規採用)
(2) 公立福生病院	内科	1名(新規採用)
(3) 公立昭和病院	救急科	1名(平成29年度採用)
(4) 日野市立病院	総合内科	1名(令和2年度採用)
(5) 奥多摩病院	内科	2名(平成30年度採用、新規採用)
(6) 檜原診療所	内科	週1回

### 2 令和4年度 医師派遣希望の状況

【令和4年4月より支援ドクターの派遣を希望した医療機関数と医師数】  
8医療機関 20名(自治医科大学卒業医等により別途確保した数を除く)

### 3 令和4年度採用 募集・応募状況

- (1) 募集期間 (一次)令和3年6月1日から7月31日まで【延長8月31日まで】  
(二次)令和3年9月27日から10月29日まで
- (2) 応募者 3名
- (3) 採用結果 内定者 3名(以下、応募時の状況)  
⇒ 1名辞退により2名採用予定
- ・37歳・男性 平成25年医師免許取得 都立病院(一次)
  - ・29歳・女性 平成29年医師免許取得 都立病院(一次)
  - ・36歳・男性 平成28年医師免許取得 都内病院(二次)

### 4 令和4年度在籍予定数

13名(支援勤務 7名 専門研修 6名)

### 5 令和4年度派遣計画(案)

(1) 町田市民病院	小児科	1名(平成31年度採用)
(2) 青梅市立総合病院	小児科	1名(新規採用)
	救急科	1名(平成30年度採用)
(3) 公立昭和病院	救急科	2名(平成29年度採用、新規採用)
(4) 日野市立病院	内科	1名(令和3年度採用)
(5) 奥多摩病院	内科	1名(令和3年度採用)